

## 参 考 资 料

## 平成 24 年度 課題テーマ別調査研究（国内）実施要領

（目的）

第 1 条 本格的な地方分権時代を迎え、地方自治体はますます自立と独自性が求められ、行政の様々な分野での変革を迫られている。

そこで、県内各自治体から、課題テーマに高い関心と強い意欲を持っている職員を研究員として募り、これから求められる政策課題について国内での現地調査を含む調査研究により、地方分権時代に対応した具体的施策の提言を求める。

（対象職員）

第 2 条 対象職員（以下「研究メンバー」という。）は神奈川県内市町村の職員で、次の当該各号に該当する者とする。

- （1）心身ともに健康
- （2）課題テーマに関連する職務に現在従事しているか、課題テーマの調査研究に取り組む意欲のある職員
- （3）上記（1）（2）に該当し、（別紙 1）の課題テーマに市町村長から推薦を受けた職員

（募集人数）

第 3 条 募集する研究メンバーは、原則として 1 市町村から 1 名とする。

（調査研究方法等）

第 4 条 調査研究方法は、次のとおりとする。

- （1）調査研究期間は平成 24 年度中とし、概ね 6 日間程度の研究会を開催し、必要に応じ 3 日間程度は国内での現地調査に充てるものとする。
- （2）具体的な調査研究方法及び日程は、（別紙 2）の「調査研究の方法及び研究会の開催計画（予定）」のとおりとする。
- （3）研究会において、調査研究に当たり必要があるときは振興協会と協議し、当該課題の専門家を講師として依頼することができるものとする。

（調査研究結果のとりまとめ）

第 5 条 研究メンバーは、調査研究結果を取りまとめ、研究報告書を作成する。研究報告書は振興協会が全市町村に送付する。

（経費の負担）

第 6 条 調査研究に係る直接経費は協会の規程等に基づき全額（支度料・日当は除く。）協会が負担する。

附 則

この要領は、平成 24 年 4 月 1 日から適用する。

(別紙1)

## 平成24年度課題テーマ (ねらい)

**【テーマ】** 大規模災害における自治体のあり方

**【訪問先】** 東日本大震災、阪神・淡路大震災等の被災地 他

**【ねらい】** 未曾有の災害となった東日本大震災。多くの犠牲者・行方不明者、避難住民が生じ、自治体職員も被災し、災害時の拠点となるべき役所・役場自体が壊滅的被害を受けたところもあり、「想定」を超える様々なケースが頻発しており、今後の自治体の取組みを根本から問い直す必要性が生じてきている。

そこで、今回の東日本大震災はもちろんのこと、過去に発生した阪神・淡路大震災や新潟中越地震などを体験した市町村職員等から、被災した場合の動きや避難所設営或いは運営での苦勞、工夫などを検証するなどし、各自治体における今後の災害に強いまちづくりに活かすことを目的とする。

(別紙2)

## 調査研究の方法及び研究会の開催計画

### 1 調査研究の方法

- (1) 集合研究会として、主として振興協会会議室にて随時行う。  
なお、必要に応じ、上記以外に説明会・打合せ等を開催することがある。
- (2) その他の調査研究
  - ① 通信による研究会（電子会議室）を常時メンバーで行う。
  - ② 自己研究
  - ③ 情報・資料収集（インターネット、図書、新聞、雑誌など）
- (3) 国内の現地調査  
上記(1)(2)の調査研究に加え、国内での先進事例や参考事例となる地域の現地調査を行う。

### 2 研究会の開催計画(予定)

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| (1) 説明会<br>(第1回研究会) | 平成24年7月4日(水)            |
| (2) 研究会             | 平成24年7月から平成24年12月(3回程度) |
| (3) 国内現地調査          | 随時(3日間程度)               |

## ○ 国内研究日程

### 説明会及び第1回研究会

平成24年7月4日（水）

- ・オリエンテーション
- ・調査研究の進め方について

### 研 究 会

#### 第2回

平成24年8月1日（水）

- ・調査訪問先の検討
- ・訪問先における調査内容の検討

#### 第3回

平成24年9月5日（水）

- ・調査訪問先の決定
- ・調査訪問先における調査項目の検討

### 現地調査

平成24年10月10日（水）から10月12日（金）

平成24年10月17日（水）から10月19日（金）

- ・別紙「現地調査日程」

#### 第4回

平成24年11月14日（水）

- ・調査報告書の構成・取りまとめ方の検討

#### 第5回

平成24年12月19日（水）

- ・調査報告書の取りまとめ

#### 第6回

平成25年2月13日（水）

- ・調査報告書の最終取りまとめ

## ○ 現地調査日程

### 1 兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）被災地等方面

（研究員：鈴木、黒柳、吉橋、大矢、一寸木）

第1日目：10月17日（水）

（午前）「加古川グリーンシティ」 訪問調査

（午後）阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」 見学

第2日目：10月18日（木）

（午前）「芦屋市役所」 訪問調査

（午後）「三田市役所」 訪問調査

第3日目：10月19日（金）

（午前）「京都大学防災研究所」 訪問調査

### 2 和歌山県方面

（研究員：小松、竹内）

第1日目：10月17日（水）

（午前）「和歌山県庁」 訪問調査

（午後）「串本町役場」 訪問調査

\* 2日目以降、1コースに合流

### 3 新潟県中越・新潟県中越沖地震被災地方面

（研究員：花本、福田、櫻井、須藤）

第1日目：10月10日（水）

（午後）「長岡市役所」 訪問調査

第2日目：10月11日（木）

（午前）「柏崎市役所」 訪問調査

（午後）「小千谷市役所」 訪問調査

「おぢや震災ミュージアム そなえ館」

「妙見メモリアルパーク」 見学

第3日目：10月12日（金）

（午前）「山古志支所」 訪問調査

（午後）「ながおか市民防災センター」

「長岡市消防本部」

「長岡震災アーカイブセンター きおくみらい」 見学

「大規模災害における自治体のあり方」研究メンバー表

市 町 村 名	氏 名	所 属 ・ 職 名
大 和 市	リーダー 鈴木 伸一朗	市長室 危機管理課 主事
小 田 原 市	サブリーダー 黒 柳 幹 雄	防災部 防災対策課 係長
相 模 原 市	花 本 孝 太	危機管理室 主任
平 塚 市	福 田 正 男	防災危機管理部 防災危機管理課 主任
茅 ヶ 崎 市	小 松 浩 幸	市民安全部 防災対策課 副主査
秦 野 市	櫻 井 秀 樹	くらし安心部 防災課 主査
厚 木 市	吉 橋 夏 美	市民健康部 国保年金課 主幹
座 間 市	大 矢 宗 弘	市民部 安全防災課 主査
大 磯 町	竹 内 愛 純	危機管理対策室 主査
中 井 町	須 藤 一 貴	まち整備課 主査
箱 根 町	一寸木 隆 之	総務部 総務課 主幹
(事 務 局)	高 橋 伸 一	(公財) 神奈川県市町村振興協会 主幹
(事 務 局)	岩 澤 隆 文	(公財) 神奈川県市町村振興協会 主査
(事 務 局)	田 中 茂 子	(公財) 神奈川県市町村振興協会 主査